

地域支援だより

山梨県立ふじざくら支援学校
地域支援部通信 第5号
令和3年2月吉日発行
文責：石井めぐみ 小宮山麻子

新しい年が始まりました。今年もよろしくお願ひ致します。

新型コロナウイルスに関わるニュースはまだ多く、終わりが見えない不安が大きくなりがちですが、気を引き締めて私たちができることを徹底していきましょう。

先日、富士北麓地域を中心に雪が降りました。本校のグラウンドも一面が真っ白に染まり、とてもきれいな雪景色となりました。子どもたちは大喜びで、小学部の児童を中心に外で雪遊びを満喫しました。大人も子どもも顔を赤くしながら遊び、みんなが笑顔になれた時間となりました。

さて、学校では3学期がスタートし、これまでの学習の評価とまとめの時期となりました。各学校、事業所での今年度の取り組みはいかがでしたか？これまでの活動を振り返り、来年度を見据えた目標の設定や指導方法を考えていきましょう。

今号は、令和2年度の本校地域支援活動の中間報告をさせていただきます。

令和2年度 地域支援活動中間報告

〇4月～12月末までの件数、延べ数をお伝えします。

① 訪問支援（園・学校数）

幼稚園・保育所	小学校	中学校	高等学校	合計
11	22	7	1	41

今年度は新型コロナウイルス感染症による、休校期間があったため、6月より訪問支援を開始しました。訪問した園及び学校数は、小学校が一番多く6割を占めていて、6市町村の全小学校のうち約半数の小学校から要請がありました。支援内容は『幼児児童生徒への指導支援』が主でした。

② ふじざくら支援学校を会場として行う主な支援活動について

	就学前	小学生	中学生	高校生	その他	合計
来校相談	11	5	16	1	3	36
電話相談	32					

- ・新型コロナウイルス感染症が流行したため、2学期までの来校相談は、来年度の就学及び進学する学年の幼児児童生徒に限定して行いました。
- ・電話相談では、教育関係、医療・保健・福祉関係、地域の保護者等、各関係機関の方々から、電話での相談を受けました。

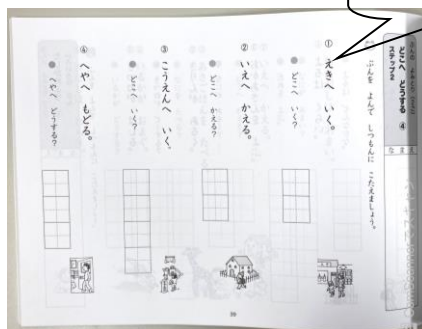
今年度は新型コロナウイルスの影響で、地域に出での支援や本校に来校していただいて相談を受け付ける時期が例年よりも遅くなりましたが、12月の時点では多くの学校や関係機関から要請がありました。3学期も気になる幼児児童生徒がいましたら、お気軽に声を掛けてください。一緒に支援方法を考えていきましょう。

☆今年度のまとめとして、1年間の地域支援活動報告を地域支援だよりの最終号でお伝えします。

新着図書を紹介

『ゆっくりていねいに 学びたい子のための読解ワーク』1～6 ※それぞれ①②があります。

企画・編著／原田善造 発行所／喜楽研

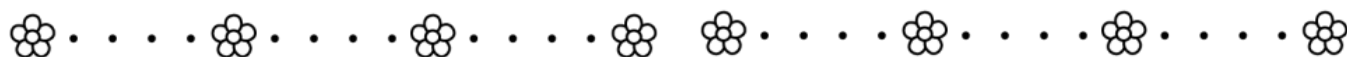


中身の見本です。

以前からあるひらがなワークやかたかなワーク等のシリーズです。



ふじざくら支援学校では、特別支援教育に関する様々な分野の専門書があり、貸し出しを行っています。学校を中心に活用できるドリル類も複数ありますので、是非御利用ください。



新型コロナウイルス感染症が発現して1年が経ちました。すでに“当たり前”になっているマスクの着用ですが、子どもたちの中にはマスクの着用を嫌がる子、すぐにとってしまう子はいませんか？どうして苦手なのかを考えながら少しずつ慣れ、子どもたちも新しい生活様式を受け入れていけるように支援していきましょう。

顔に触れられることが苦手。



マスクの感触が苦手。チクチクする、息苦しい。

- 着用する時間や場所を決めてルール化したり、条件をつけたりして（マスクをしたら〇〇ができる）少しずつマスクを着ける機会を増やす。
- 感覚過敏がある場合には、大人との関わりの中で触れられる機会をもつ。その際は顔から遠い部位（腕や足から）を触り、感触を受容できるように支援してみましょう。
- マスクの素材によって苦手さが出ていることもあります。いろいろな種類のマスクがありますので、どの素材のマスクが受け入れられそうか試してみることも良いかもしれません。
- 楽しくマスクが着用できるように好きなキャラクターの柄やワンポイントがあるものもいいですね。



お気軽にお問い合わせください。

山梨県立ふじざくら支援学校 地域支援部 担当：石井めぐみ 山本志織 小宮山麻子 渡邊里

〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1

TEL 0555-72-5161 FAX 0555-72-5164

E-mail chiiki@fujizaky.kai.ed.jp

HP <http://www.fujizaky.kai.ed.jp>

